



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 180

令和4年(2022)
5月2日

- 令和4年度一般会計予算を可決
- 令和3年度一般会計補正予算を可決
- 「ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議」を可決

主 な 内 容	令和4年度予算の内容	2
	常任委員会の審査報告	4
	各会派討論の内容	6
	議案の採決結果	8
	代表質問	10
	一般質問	12
	決 議	18
	議会のICT化	19
	議会防災訓練	20
	議会学習会	20
6月定例会の予定	20	

議会だよりはこのコードから
ご覧いただけます。



春爛漫
あらたなステージへ

(三安橋から見た与保呂川)

令和4年度当初予算661億1935万円 ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らしの実現 ～3つのまちづくり戦略～

令和4年
3月定例会
のあらまし

- ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らしの実現に向けた令和4年度当初予算を可決
- 大雪による雪害支援や新型コロナウイルス感染症対策で早期に議決を要する令和3年度補正予算を可決
- 京都舞鶴港既存航路の維持支援や交通安全推進事業を含む令和3年度補正予算を可決
- 「ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議」を議会提案し「全員賛成」で可決

令和4年3月定例会は、2月24日から3月28日までの33日間開催されました。市長から提案された議案は、令和4年度予算9件、令和3年度補正予算4件、条例16件、その他1件の30議案。議会提案の「ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議」「舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定」と合わせて32件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

提案された主な施策など

1 心豊かに暮らせるまちづくり

安定した質の高い保育サービスの提供体制の維持および将来を見据えた持続可能な教育・保育の提供体制を構築し、子どもの豊かな成長と親子の絆を重視した事業を拡充・展開する施策

子どもたちが、ふるさと舞鶴に誇りと愛着を持ち、将来、地域社会に貢献できる人材として成長できるための取り組みや、教員の授業力および子どもたちの学力向上に向けた取り組みを積極的に推進する施策

多世代交流施設「まなびあむ」等により、全ての世代が集まって地域活動に関わるきっかけを創出するとともに、歴史文化のまちの「タカラモノ」を発信することなどにより、まちへの誇りを醸成する施策



認定こども園として開設された朝来幼稚園

2 安心のまちづくり

地域医療について、公的4病院の特色ある機能をさらに充実させ、連携を深化させることにより市全体で総合的に地域医療が機能する体制づくりを推進し、市民の皆さんが安全・安心に暮らすことができる医療の確保を図る施策

防災・減災対策について、自然災害が頻発・激甚化・多様化・複雑化し、その重要性や専門性も増大していることから危機管理体制の強化を図る施策

消防防災体制について、常備消防、消防団、自主防災組織等との連携による地域防災力向上に努めるとともに、減少する消防団員の確保に向けた処遇改善の施策



公的4病院のネットワーク

3 活力あるまちづくり

地域経済の活性化について、「ビヨンド・コロナ社会」における持続可能な経済振興に向け、先進技術の導入によるDX化や脱炭素社会実現に向けた取り組みなど、市内事業者の新たなビジネスモデルへの転換や新分野への進出など、本市の未来を支える産業を創出する施策

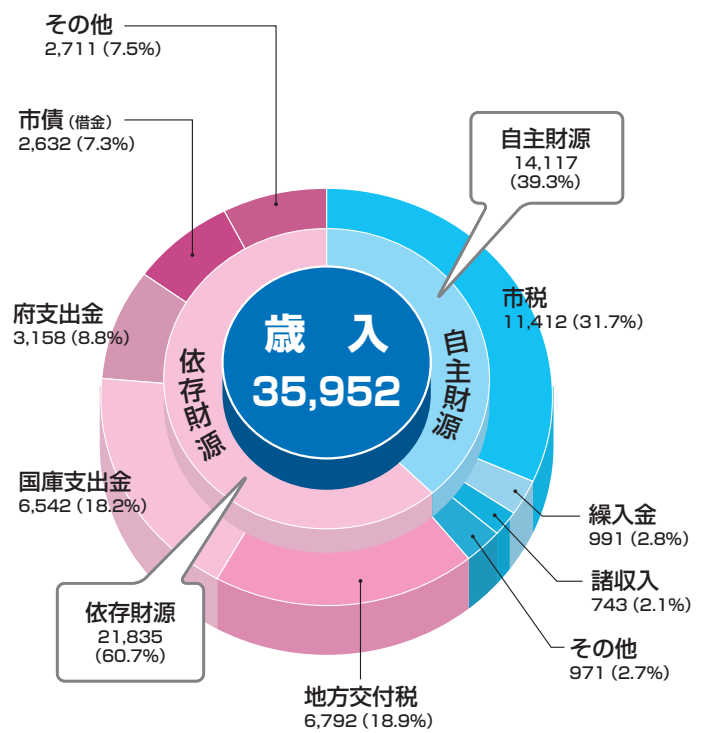
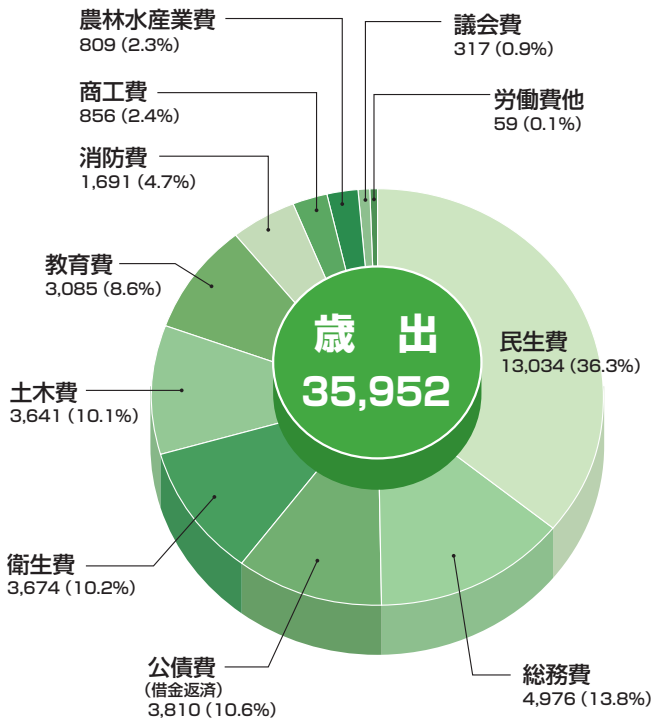
魅力を引き出す観光まちづくりとして、京都北部地域を代表する観光拠点である舞鶴赤れんがパーク周辺一帯を、Park-PFI制度を取り入れた民間活力導入によるエリア一帯の戦略的な運営により、さらなる魅力向上を図る施策



舞鶴赤れんがパーク

一般会計予算

単位：百万円



まちづくりに係る主な事業

●心豊かに暮らせるまちづくり

(新規) 多世代交流による地域づくり推進事業費	545万円
移住定住の推進の取組	5631万円
(新規) 舞鶴版マザーズジョブカフェ推進事業費	587万円
(新規) 公私連携幼保連携型認定こども園等整備事業費	9842万円
(新規) 保育士等処遇改善臨時特例事業費	2823万円
(新規) 図書館基本計画策定経費	785万円

●安心のまちづくり

(新規) 舞鶴地域麻酔診療支援センター運営経費	350万円
(拡大) まちづくり推進事業費	8071万円
(新規) 西消防署整備事業費	1億1700万円
(継続) 雨水処理事業費(下水道事業会計) (西地区・東地区浸水対策事業)	7億671万円

●活力あるまちづくり

(継続) 地方創生拠点整備事業費	2億8257万円
(新規) UIJ人材獲得支援事業費	330万円
(新規) ふるさと納税による 新事業創出支援事業費	642万円
(新規) まいづる産品ブランド力向上事業費	600万円

特別会計予算

会計区分	4年度	3年度	伸び率
国民健康保険事業会計	79億628万円	77億1460万円	2.5%
貯木事業会計	200万円	210万円	-4.8%
駐車場事業会計	4904万円	8239万円	-40.5%
介護保険事業会計	90億769万円	89億520万円	1.2%
保険事業勘定	90億109万円	88億9880万円	1.1%
介護サービス事業勘定	660万円	640万円	3.1%
後期高齢者医療事業会計	14億7165万円	13億8235万円	6.5%
公営企業会計	117億3110万円	121億6908万円	-3.6%
水道事業会計	33億8780万円	33億3980万円	1.4%
下水道事業会計	72億7265万円	77億6960万円	-6.4%
病院事業会計	10億7065万円	10億5968万円	1.0%
合計	301億6776万円	302億5572万円	-0.3%

本会議において付託された議案は、市民文教委員会1件、福祉健康委員会3件、産業建設委員会1件、総務消防委員会12件、予算決算委員会13件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

予算決算委員会の主な審査内容

令和3年度一般会計補正予算(第13号)

子育て世帯等臨時特別支援事業費

Q 1人の子どもに20万円が支給されることもあり得るのか

A 前養育者が給付金を受け取って、子のために使用していない場合で、基準日後に、離婚等で新たに対象児童の養育者となった者から申請があれば、給付金を受け取っていない事実に基づき、10万円を支給することになる。

農業生産施設緊急復旧対策事業費補助金

Q パイプハウスの被害件数と金額は

A 被害件数は50棟、金額は試算で2200万円である。

Q 補助対象者は

A 販売農家。支援を受ける時は、共済への加入が条件である。



令和3年度一般会計補正予算(第14号)

高齢者福祉施設等改修事業費

Q 今回の改修工事費減額補正に該当する施設は

A 中デイサービスセンターおよび南デイサービスセンターの2か所である。

施設整備事業費(小学校)

Q 対象となる学校および改修工事の内容は

A 与保呂小学校で、校舎の外壁改修および屋上防水シートの張り替えを行う。新舞鶴小学校と朝来小学校で、体育館の外壁改修、屋根の塗装改修および照明のLED化を行う。

交通安全推進事業費

Q 交通安全推進事業費の通学路等の安全対策の内容は

A 通学路の路面標示やポストコーン等の設置工事を計画している。

北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金

Q 警報機・遮断機等の更新を行うとのこと

であるが、これらの更新は、どのような基準で実施されているのか

A 耐用年数や老朽化の状況等を確認しながら順次更新されている。

生活困窮者自立相談支援事業費

Q コロナ禍以前と現在の相談件数は

A 令和2年度の新規相談件数は、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった令和元年度と比較すると、1.8倍の482件であった。また、令和3年度は2月末時点で435件の相談を受けており、昨年と同様の水準で推移している。その件数のうち、コロナの影響によるものは全体の55%程度である。

Q 生活支援相談センターの相談支援員の体制は

A コロナ禍により、当初より1人増員し、現在は会計年度任用職員等の相談員4人と正規職員2人の体制で、合計6人が相談事業を受けている。

公共施設再生可能エネルギー利活用調査事業費

Q 令和3年度も同じ事業があるが、再生可能エネルギー導入の詳細な計画は定まっているのか

A 令和3年度は、文化公園体育館と中総合会館でエネルギーの利活用調査を実施したが、令和4年度は、市の公

共施設のうち公民館や小中学校など49施設を対象に、利活用調査を行う。

京の水田農業総合対策事業費補助金

Q 事業概要は

A 酒米や特別栽培米など需要のある米作りに対する補助で、京都府の京の水田農業を活性化させる。補助率は、10分の4である。

Q 補助対象者は

A 3戸以上の農業者等で組織する団体等。

国・府河川整備促進事業費

Q 志高排水路の整備完了時期は

A 令和4年度から3カ年程度を予定している。

※1 シティブランディング戦略事業費

Q 「ツルい！大辞典」とは、どのようなものを想定しているのか

A 舞鶴の魅力を盛り込み、ユーモアも入れた冊子を作成する予定。デジタル化し、学校での利用も含め、市民に魅力を再認識してもらう契機としたい。

※2 MaaS推進事業費

Q 将来、公共交通を補完するものとして確立する見込みか

A スマホアプリを使った住民同士の送迎の仕組みについては、実証実験を通じて一定確立したものと認識しており、高野地区で運用を継続していく。

公共交通ネットワーク会議事業費補助金

Q 普段バスを利用しない人をターゲットとした割引回数券は、どのように周知するのか

A さまざまな広報媒体を通じて情報発信のほか、事業所等への働きかけなども想定している。

令和4年度水道事業会計予算

配水管整備事業費

Q 適正口径へ見直し水道管の布設替えを行うとは

A 老朽化した水道管の布設替えの際には、将来の水需要予測を踏まえ、水道管の口径をサイズダウンすることができないかを検討の上、実施している。

令和4年度駐車場事業会計予算

市営駐車場施設整備事業費

Q 七条海岸駐車場の移設に伴う駐車台数は

A 土木管理センター跡地と商工観光センター駐車場とを一体整備し、当地に移設するため、現状127台から90台程度になる見込み。



※1 シティブランディング … 市民の皆さんが地元への誇りや愛着を持ち、さらに高めてもらえるような取り組み

※2 MaaS … 「Mobility as a Service」の略。利用者の目的や嗜好に応じて、最適な移動手段を提示

本会議において付託された議案は、市民文教委員会1件、福祉健康委員会3件、産業建設委員会1件、総務消防委員会12件、予算決算委員会13件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

常任委員会の主な審査内容

市民文教委員会

舞鶴市図書館基本計画 審議会条例制定

本市の図書館基本計画に関する事項を調査、審議するため審議を設置し、その運営について必要な事項を定めるもの。

Q 審議会は公開か。

また、委員の選出区分や所属団体は明らかにされるのか

A 審議会は公開とし、学校教育関係者、社会教育関係者、公募委員など、計10人で構成されている。

福祉健康委員会

社会福祉法人の助成に 関する条例制定

社会福祉法の規定に基づき、社会福祉法人に対する助成について必要な事項を定めるもの

Q 従来から行ってきた事業者負担の軽減措置等の支援内容に変更はあるか

A 今回の条例制定は、審査の適正化や透明化の確保を主眼に置いたものであり、助成額や助成内容に変更はない。

介護福祉士育成修学資金 の貸与に関する条例の 一部を改正する条例制定

介護に従事する人材のさらなる充実を図るため、修学資金の貸与および返還免除の要件である業務に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律および児童福祉法の規定に基づく事業所等において行われる介護等の業務を追加するもの

Q 舞鶴YMCA国際 福祉専門学校 の在籍状況と 修学資金の活用 状況は

A 介護福祉学科には、令和3年度、1年生が13人、2年生は15人在籍しており、その中で修学資金を活用されている方は、1年生が8人、2年生が2人の計10人である。

産業建設委員会

行政財産使用料条例の 一部を改正する条例制定

新たな遊覧船乗場の整備に併せ、遊覧船事業者から徴収していた行政財産使用料を、これまでの陸側の土地面積を基礎とした使用料ではなく、運航実績に応じた適正な負担を求め、使用料の特例措置に係る所要の改正を行うもの。

総務消防委員会

職員の給与に関する 条例等の一部改正

国家公務員の給与改定に係る状況に鑑み、一般職の職員に支給する期末手当の支給割合を引き下げるもの。

Q 職員1人当たりの影響額は

A 1年目の職員で年間約3万円、職員全体では年間5万円から6万円の減額となる。

消防団条例の 一部改正

消防団員の士気向上や家族等の消防団活動への理解を得ることに伴う退団者の抑制、新入団員の確保を目的とした改正。

防災会議条例の 一部改正

これまで、地域防災計画は防災会議、水防計画は水防協議会で作成等に係る事務を行ってきたが、両計画は相互に関連し、また、防災会議委員と水防協議会委員の多くが重複していることから、これを一本化し、実効性の高い計画の作成と、事務等の簡素化を図るもの。

市長・副市長の給与に 関する条例及び教育長の 給与等に関する条例の 一部改正

国家公務員の給与改定に係る状況に鑑み、市長、副市長および教育長に支給する期末手当の支給割合を引き下げるなど所要の改正を行うもの。

河守(こうもり)基金 条例の一部改正

河守基金とは、本市出身の実業家である河守浩氏とそのご子息の和彦氏から、本市の公益事業推進のために寄付をいただき、基金を設置して運用しているもので、毎年2700万円以上の収入をもたらしている。

組織及び分掌事務に 関する条例の一部改正

効果的で効率的な組織運営を行うため、生活相談に関するものを、

市民文化環境部の分掌事務から、福祉部の分掌事務に改めるもの。

Q 相談体制は、どの ように変わるのか

A 生活支援と消費生活の相談を一本化し、連携を深め、きめ細やかに対応できるようにするもので、体制と窓口の場所は変わらない。

土地開発公社定款の 変更

経営の安定を図るため、業務運営の見直しの一環として専務理事を廃止するもの。



委員会の様子

討 論

令和4年2月24日の本会議初日および3月28日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。



コロナの心配のない暮らしを

討論

市民の命と健康、
暮らし最優先の予算に

日本共産党議員団

25議案に賛成し、5議案に反対する。

第1号議案「令和4年度一般会計予算」に反対する。理由の第1は、市独自でPCR検査を実施する予算措置がなく、新型コロナウイルス感染症から市民

の命と健康を守る予算になっていないこと。第2に、大型開発と観光優先で、「山陰新幹線誘致事業」など無駄と思える予算があること。第3に、西消防署と出張所の統合など市民生活における安全と安心が揺らぐ予算になっていること。第4に、公立保育所の廃止など自治体リストラによる職員のさらなる減少で、市民サービスの低下につながる心配があることによる。

高すぎる保険料の軽減策を

第5号議案「令和4年度国民健康保険事業会計予算」と第8号議案「同介護保険事業会計予算」および第9号議案「同後期高齢者医療事業会計予算」に賛成できない。コロナ禍で高すぎる保険料が市民を苦しめており、一般会計から繰り出すなどの負担軽減を求め

討論

3つのまちづくり戦略に係る施策を評価

公明党議員団

全議案に賛成する。

第1号議案、令和4年度一般会計予算は、359億5159万円と前年度比0.3%、1億433万円の増額予算となっている。歳出では、3つのまちづくり戦略を重点施策とし、第1のまちづくり「戦略の「心豊かに暮らせるまちづくり」では、人口減少・少

子高齢化への対策や住みよい環境を確保する施策、豊かな自然、連続した歴史・文化、特色ある教育環



防災・減災対策の充実を

境、充実した子育て環境、共に助け合う地域コミュニティの醸成などの施策により、住んでみたい舞鶴づくりを進めるものである。第2のまちづくり戦略の「安心のまちづくり」では、医療施策や防災・減災対策の強化、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる支え合いのまちづくりを進める施策であり、第3のまちづくり戦略は、「活力あるまちづくり」として、観光資源や地域産業の全てにつながる産業や新産業の創出に対する予算となっていることを評価し、賛成する。

討論

行政手続きの
オンライン化推進を

創政クラブ議員団

全議案に賛成する。

令和4年度は、第7次舞鶴市総合計画前期実行計画の最終年度となり、基本方針として、主にITを活用した便利で心豊かな田舎ぐらしの実現、新型コロナウイルス対策、ピヨンド・コロナ社会の構築、防災・減災対策

の強化に重点を置いた予算編成である。歳入歳出予算の総額はそれぞれ、一般会計359億円、公営企業会計除く特別会計184億円で、事業については引き続き赤れんがパーク周辺一帯を一大

交流拠点とするための整備を進め、「行政手続のオンライン化」を推進することで、市民の利便性の向上につながり、「マザーズジョブカフェ」は、子育て世代女性の社会進出を支援する事業であることから評価する。第10号議案から第24号議案までは、各条例の一部を改正する条例制定、第25号議案は定款の変更、第26号議案から第28号議案は補正予算であり、いずれの議案も舞鶴市の将来に向けた必要な取り組みであることから、賛成する。



整備が進む赤れんがパーク

令和4年2月24日の本会議初日および3月28日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論

討論

市民に寄り添う
努力を評価

会派に所属しない議員

全議案に賛成する。
令和4年度一般会計
予算案は、市税が前年
度当初比1・0%増な
ど歳入項目の多くが増
加する中、市債発行額
は37・5%減となり、
全体として前年度当初
比0・3%増と堅調で
あると評価する。歳出
では、市民の利便性を
図る窓口申請
のデジタル化、
増加する鹿な
どの有害鳥獣
対策、舞鶴地
域麻酔診療医
療センターの
設置、道路設
備や老朽化が
進む公共施設
の長寿命化な

ど課題解決に向けた事
業に取り組まれている
ことを評価する。飲食
店への営業時間短縮要
請の際には全庁体制で
事業者訪問を行い、ま
た、市民の声から生ま
れた「市民オペラ」な
ど、市民ニーズの把握
に努め、事業に反映さ
れている。移住定住の
促進に積極的に取り組
み、「田舎暮らしの本」
ベストランキング上
位に続き、「生活ガイ
ド・JTB」で本年2月の
京都府の地域注目度2
位となり、多くの方に
注目されることにつな
がっている。市の努力
を認め、賛成する。



これからも市民ニーズの把握を期待

討論

前期実行計画の
最終年度予算を認める

市民クラブ舞鶴議員団

全議案に賛成する。
学習支援や子ども食
堂などの「子どもの居
場所づくり」につな
がる事業に取り組む団
体のサポートや、ヤン
ゲアラーへの支援が
初めて市長から示され
た。わが会派で、これ
までから一般質問等で
支援を提案してきたこ
とから、声を上げられ
ないくらい弱い
人を助けるとい
う市長の言葉を
今後も注視する。
移住定住促進
施策は、これま
でから空き家バ
ンクの需要に対
して登録物件が
極端に少ないこ

とや、市職員が地域に
もっと入っていくべき
と指摘してきた。これ
らの是正を図るべく、
組織改編や予算計上
が図られ、目に見える形
で反映されたことを評
価する。

有言実行は長の責務

「安心のまちづくり」
では、不足する麻酔科
医師の確保に向けた新
規事業を評価するもの
の、総合診察医をはじめ
めとする医師の不足な
ど、救急医療の充実
は待ったなし。医師を
実際に連れてきていた
くことが有言実行で
あり、自治体の長の責
務と考える。



心豊かに暮らせるまちづくりを

討論

確実な市政運営と
将来を見据えた予算

新政クラブ議員団

全議案に賛成する。
令和4年度一般会計
予算では、予算総額
359・5億円となり、
歳入では、自主財源で
ある市民税が増収予想
となるなど、明るい兆
しも見えてくる。ふ
るさと応援寄附金も倍
増の約1・2億円であ
り、財源獲得手
段も工夫を重ね
積極的に実施し
ている。歳出で
は、全世代の市
民に学びを提供
する中央図書館
の建設も視野に
入れた舞鶴市図
書館基本計画の
策定をはじめ、
加佐地域と大浦

地域に活性化センタ
ーを設置し、地域課題
と向き合った地域活
性の推進、さらに西
消防署と中出張所を
統合する移転整備計
画と、6消防本部の
広域連携による消
防指令センターの
整備での新たな消
防体制の構築などが
提案された。ビヨ
ンド・コロナ社会
を見据えつつ、ま
ちづくり戦略で重
点施策としている子
育、教育、医療、福
祉、防災、地域経済
の活性化の実現と
持続可能な本市の
未来像を意識した
予算であり、賛成す
る。



図書館や消防署などさまざまな再編を計画

令和4年3月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 吏員退職料其他給与金条例の一部を改正する条例制定について
- 職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 消防団条例の一部を改正する条例制定について
- 旅費条例の一部を改正する条例制定について
- 防災会議条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- 河守基金条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 組織及び分掌事務に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 行政財産使用料条例の一部を改正する条例制定について
- 社会福祉法人の助成に関する条例制定について
- 介護福祉士育成修学資金の貸与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 図書館基本計画審議会条例制定について
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択
 【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	仲井玲子	議決をした日
新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	市民	市民	市民	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	3月28日

無党派…会派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

議案の採決結果

(令和4年3月定例会) 会期:2月24日~3月28日

全会一致で可決した予算議案

- 令和4年度水道事業会計予算
- 令和4年度下水道事業会計予算
- 令和4年度病院事業会計予算
- 令和4年度貯木事業会計予算
- 令和4年度駐車場事業会計予算
- 令和3年度一般会計補正予算(第13号)
- 令和3年度一般会計補正予算(第14号)
- 令和3年度下水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和3年度病院事業会計補正予算(第2号)



全会一致で可決したその他の議案

- 土地開発公社定款の変更について

全会一致で可決した議会提出議案

- ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議
- 舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

賛否が分かれた議案

議案名		議員名等(会派内は五十音順)	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	今西克己	上野修身	鯛慶一
									新政	新政	新政
市長提出議案	令和4年度一般会計予算		26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和4年度国民健康保険事業会計予算		26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和4年度介護保険事業会計予算		26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和4年度後期高齢者医療事業会計予算		26	25	21	4	0	可	○	○	○
	舞鶴市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について		26	25	21	4	0	可	○	○	○

【会派】 新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団、

令和4年3月8日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

令和4年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

令和4年3月8日

順番	質問方式	会派名及び氏名	質問事項	
1	一括	新政クラブ議員団 上野 修身	1 子育て環境日本一を目指したまちづくりのさらなる推進について	2 舞鶴市立小・中学校について
			3 持続可能な消防体制について	4 コロナで疲弊した産業の振興について
			5 赤れんが周辺等まちづくり事業について	6 新型コロナウイルス感染症対策について
2	一括	公明党議員団 上羽 和幸	1 新型コロナウイルス感染症対策について	2 デジタル社会について
			3 雇用について	4 子育て・教育について
			5 地域共生社会について	
3	一括	創政クラブ議員団 伊藤 清美	1 市政運営について	2 まちづくり戦略について
			3 京都舞鶴港を活かした産業の振興について	4 舞鶴市制施行80周年について
4	3分割	市民クラブ舞鶴議員団 西村 正之	1 心豊かに暮らせるまちづくりについて	2 安心のまちづくりについて
			3 活力あるまちづくりについて	
5	一括	日本共産党議員団 石束 悦子	1 新型コロナウイルス感染症から「阿よも命」を守る自治体の役割について	2 8万市民のいのちと暮らしを支える本市の財政について
			3 市長の市政運営について	4 平和を発信するまちづくりについて

※3分割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページに掲載しています。
また、本会議の様子は、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページからご覧ください。

舞鶴市議会

検索



西消防署の建設候補地

質問 常備消防の体制については、本市の人口減少の現状、将来人口推計を考慮し、時代に即した体制への見直しが必要である。今定例会で市長から、西消防署と中出張所を統合し、東西2署体制で高度な消防機能を備えた新たな防災拠点となる西消防署の移転整備に係る設計に取り組む

とされ、「西消防署整備事業費」として、調査・設計費が計上されている。西消防署の移転整備計画の概要を問う。

答弁 消防庁舎の再編は、昭和23年自治体消防発足からの2署1出張所体制から、西消防署と中出張所を統合し、高い消防機能を備えた新たな防災拠点となる西消防署を移転整備するもの。移転先は、第3ふ頭入口の国道に面した国有地を候補地として取得事務を進めており、令和4年度に調査・設計業務、令和5年度から建設工事に着工し、令和7年度の竣工を計画している。

代表質問
Q 西消防署の移転整備計画の概要は
A 第3ふ頭の国有地が候補地



新政クラブ議員団
上野 修身



「ファーストエイド」とは
救急対応です

質問 新型コロナウイルスの感染が猛威を振るっている。最も懸念されるのは、医療機関が新型コロナウイルスの対応で逼迫し、通常の医療提供に支障が生じていることである。市内の状況はどうか。

答弁 医師会や公的病院等にヒアリングを行っており、一部の医療機関で院内感染による一時的な入院受け入れ中止はあったが、いずれの施設も一般診療にまで影響は及んでおらず、現在は医療が逼迫している状況にはないと認識している。

代表質問
Q 新型コロナウイルスによる本市の医療状況は
A 一般診療への影響はない



公明党議員団
上羽 和幸

質問 うつ病など精神疾患に苦しむ人は多い。「メンタルヘルス・ファーストエイド」とは、心理的危機に陥った人への対応法を身につけるプログラムであり、この考え方をういた普及啓発を行っていただきたいが、市の見解は。

答弁 本市では、この考えを活用し、ゲートキーパーや認知症サポーターの養成等に取り組んでいる。今後とも各関係機関と連携を強化し、取り組みの充実と普及啓発に努めたい。

Q メンタル不調への対応を
A 充実普及に努める

令和4年3月8日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

代表質問

Q 令和4年度予算編成の基本方針は

A 未来への投資にも取り組む予算を編成



創政クラブ議員団
伊藤 清美

質問 市長は、これまで財政の身の丈を踏まえ、得られた財源の中で創意工夫を凝らし

最少の経費で最大の効果を発揮させるため、社会情勢や時代に即した事業の見直しや取り組みを進めてきた。平成30年度からは、歳入予測に基づいた歳出予算枠を配分する枠配分方式の予算編成を導入。来年度予算は、どのような方針で編成されたのかを問う。

答弁 「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし」の実現に向け、将来を見据えた持続可能な質の高い教育・保育、高い消防機能を備えた西消防署の整備およびJR西舞鶴駅前広場の整備など未来への投資とな

る新たな事業の展開にも取り組む予算とした。
Q ロシアの軍事侵攻の影響は
A 今後の動向を注視する

質問 ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は明白に国際法に違反している。世界的にもエネルギーの高騰などをはじめ、大きな影響が出ている。舞鶴ではロシアとの貿易などで影響があった場合、どのような対応を検討しているのかを問う。

答弁 現在は、大きな影響はないものと確認しており、今後の動向を注視していく。



歳入と歳出のバランスを

代表質問

Q 救急医療体制の現状を問う

A 本市の救急医療は確保されている



市民クラブ舞鶴議員団
西村 正之

質問 肺に疾患を持つ方が体調を崩され、救急当番医に夜間の診察を求めて行かれたが、担当医が精神科医ということで、市内の個人病院に緊急入院された。残念ながらその方は、数時間後に亡くなられた。ご家族は、救急医療体制が機能していれば、助かる命だったと嘆かれています。本当の救急医療体制とは、受け入れ態勢の確保である。本市の状況について、市長の見解を問う。

答弁 救急車による患者の市内病院への収容率は97・6%であり、本市の救急医療は確保されている。一方、総合診療をはじめ救急医療等を担う医師など、地域に不足している医師については、京都府や京都府立医大に派遣の要望を行うなど、その確保に取り組んでおり、今後も引き続き要望する。市民の皆さまには、限られた医療資源の有効的な活用をお願いする。



救急医療は受け入れ態勢が大事

代表質問

Q コロナ禍のもと自治体の役割発揮に必要な要望は国・府に行っていく

A 必要なのは国・府に行っていく



日本共産党議員団
石束 悦子

質問 新型コロナウイルス感染症対策について①感染した場合の対処方法、濃厚接触者など、府と連携し、市民に正確な情報発信を行うこと。②いつでも、誰でも、何度でも、無料でできる検査体制は。③コロナ専用の療養施設の拡充について、市の見解を問う。

答弁 ①京都府と連携し、より分かりやすい情報提供に努める。②京都府により「感染拡大傾向時の一般検査

事業」が実施されており、発熱等の症状がなくても無料で検査が受けられる。③療養施設は国、府においてしっかりと確保されている。

Q 住民福祉優先の市政運営を

A 効果的・効率的に運営する

質問 市長は、市政運営を「株式会社舞鶴市役所」と公言し、経営効率重視の市政運営を推進してきた。住民福祉の増進の理念のもとで市政運営すべきと考えますが、市の見解は。

答弁 民間企業のコスト意識などを学び、得られた財源をしっかりと利用し、行財政改革を実行してきた。引き続き、効果的・効率的な行政運営に取り組む。



3回目のワクチン接種会場

令和4年3月9日、10日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

令和4年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

令和4年3月9日、10日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一括	今西 克己	1 加佐地域活性化センターの設置について
			2 舞鶴市内の盛土の現状について
2	一問一答	鴨田 秋津	1 豪雪地帯における持続可能な対応について
			2 中学校における部活動改革について
3	一問一答	伊田 悦子	1 ジェンダー平等を目指す本市の姿勢について
			2 子どもの貧困を解決する取組について
4	一括	高橋 秀策	3 投票環境の整備で投票率アップを目指す取組について
			1 市内建設業者の育成について
5	一括	杉島 久敏	2 学校施設整備について
			3 移住・定住施策の推進について
6	一括	仲井 玲子	1 バリアフリーについて
			1 高齢化を見据えたまちづくりについて
7	一括	野瀬 貴則	2 学校と地域の連携について
			1 大雪の状況と共助による除雪について
8	一括	田村 優樹	2 舞鶴市共生型MaaS「meemo」を使った新たな地域交通体系の構築について
			1 市道和泉通線について
9	2分割	小西 洋一	2 舞鶴版コンパクトシティについて
			3 中心市街地の活性化について
10	一括	松田 弘幸	1 先生子どもたちもびのびできる学校づくりについて
			2 第3期舞鶴市環境基本計画について
11	2分割	鯛 慶一	3 JR西日本㈱の合理化計画について
			1 食のブランドについて
12	一問一答	小杉 悦子	2 持続可能な環境配慮行動の推進について
			3 地震対策について
13	一括	谷川 真司	1 新型コロナウイルス感染症の対応について
			2 駐車場の管理運営について
14	一括	水嶋 一明	3 公私連携携保連携型認定こども園について
			1 農業振興について
15	一問一答	肝付 隆治	2 国民健康保険事業について
			3 障害者の暮らしの場の保障について
16	3分割	田畑 篤子	1 自治会への支援について
			2 商店街への振興策について
			3 「まなびあむ」について
			1 乳幼児教育の環境整備について
			2 質の高い乳幼児教育の推進について
			1 舞鶴市地域エネルギービジョンと地域の活性化について
			1 新型コロナワクチン接種について
			2 地域医療について
			3 子育て支援について

- ※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
- ※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
- ※3 分 割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
- ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

舞鶴市議会 検索



※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページに掲載しています。
また、本会議の様子は、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページからご覧ください。

令和4年3月9日、10日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



地域の活性化を担う加佐分室

質問 加佐地域の魅力ある地域づくりをさらに積極的に推し進めるため、令和4年度から加佐地域農業農村活性化センターを加佐分室に移転・集約し、加佐分室、加佐公民館と一体的に業務を実施する「加佐地域活性化センター」が設置される。これを目指す方向性と所管各部の連携、地域拠点施設としての役割を問う。

答弁 従来の活動に加え、地域課題への対応

Q 加佐地域活性化センターの役割を問う
A 地域団体と連携して取り組んでいく



新政クラブ議員団
今西 克己

応や魅力ある地域づくりを推進する新たな事業についても、加佐ふるさと塾や地域団体と連携して積極的に取り組んでいく。

Q 本市の盛土対策を問う
A 京都府と連携して取り組む

質問 近年、過疎化とともに中小河川沿いの空き地や耕作放棄地に土砂等が搬入され、場所によっては盛土となっている。災害未然防止の観点から、本市の対策を問う。

答弁 本年3月に、盛土規制法案が閣議決定された。農地法、法定外公共物管理条例等により、引き続き京都府と連携して取り組んでいく。



10年ぶりの大雪

質問 今季は大雪となり、除雪対応に課題が見えた。生活道路や通学路は、地域の方々が雪かきをしてくださいというのが市のスタンスだが、高齢化などで、昔と比べて雪かきができる人が少ない。市は、この現状を認識しているか。今後、関係者と共助について議論すべきではないか。

答弁 高齢化で雪かきができないというご意見を多く伺っているが、これまでと同様に自治会やPTAなど、

Q 通学路等除雪の在り方を見直す時期では
A できる限り地域にお願いする



市民クラブ舞鶴議員団
鴨田 秋津

各種団体の皆さまと協力し、対応しなければならぬと考えている。

Q 中学校部活動改革を本腰で
A 来年度はさらに進める

質問 国は令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域に移行する方向性を示しており、本市はモデル地域として令和3年度から取り組んでいる。中学校部活動と地域スポーツが、密接に協力できる体制をいかに構築するかが今後のポイントだと考えるがどうか。

答弁 関係機関の代表者の組織を設立している。来年度は参加メンバーを拡大し、会議の回数を増やすなど、さらに検討を進める。

Q 市民との共同でジェンダー平等実現を
A 関係団体との連携で事業推進に取り組む



日本共産党議員団
伊田 悦子

質問 男女共同参画社会実現を目指す拠点施設「フレアス舞鶴」では、NPO法人「ま

いづるネットワークの会」が市から委託を受け、運営や男女共同参画に関する意識づくり事業等を展開してきた。

来年度から市直営となるため、同法人や市民と連携してジェンダー平等の地域づくりを展開させる必要があると考えるが、市の見解を問う。

答弁 NPO法人「まいづるネットワークの会」には、男女共同参画の推進に大きく寄与していただいている。

「フレアス舞鶴」の再活性化のため、来年度からは市職員が施設管理を行うが、「ネットワークの会」をはじめ

関係団体と連携して、さまざまな事業を展開し、SDGsジェンダー平等の推進を図る。

Q 選挙の投票率向上の策は
A 商業施設での投票所を開設

質問 今後、高齢化が進む中、移動期日前投票所の開設や投票所までの移動支援について、市の考えは。

答弁 国や府と協議の上、許容範囲で財源を活用して実施することになると考えている。



今回期日前投票所となったバザールタウン

一般質問

令和4年3月9日、10日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

Q 市内建設業者の受注機会の確保を
A 引き続き地元企業への優先発注に努める



質問 市内の建設業者は、朝の3時頃からの除雪、大雨や台風などの災害時にいち早く復旧工事に着手していただくなど、なくてはならない存在である。市内建設業者の育成で以下のことを問う。①国発注工事の入札機会の確保は。②受注機会確保の取り組みは。

答弁 ①国が「企業チャレンジ型総合評価方式」を採用。あらゆる機会を通じて、国に要望していく。②地元建設業者は社会基盤の整備をはじめ、冬季の道路除雪や災害時の緊急対応などに欠くことのできない存在であり、従来から地域経済活性化の観点と併せ、地元企業への優先発注を基本としている。

Q 小規模自治会が利用しやすい支援策を
A 必要な支援を総合的に検討していきたい



質問 地域行事やサロンなど、利用頻度の高い地域集会所を管理する自治会で、集会所入口までにスロープなどの構造物がなく、段差になっているため、車いす利用者が行事等への参加を断念されるケースが発生していると聞いた。確認したところ、バリアフリー化を図るにしても世帯数が少なく、整備に必要な積立金がない状況であった。自治会の規模により大きな差が生じていることから、地域集会所の改築等について、小規模自治会でも利用しやすい支援策が必要と思われるが、本市の考えを問う。

答弁 地域集会所を改修される場合には、補助率3分の1の「地域集会所建設等事業費補助金」の支援がある。一方で、費用の3分の2は自治会の負担となることから、小規模自治会では、各世帯の負担が大きくなることは認識している。自治会をはじめ、地域の皆さまの意見をよく聞いて総合的に検討していきたい。

Q 高齢化を見据えたまちづくりは
A 快適で安全に利用できるよう取り組む



質問 現在、余内地域で府道小倉西舞鶴線と西舞鶴道路の2本の主要道路の整備が進められている。国道沿いや府道沿いのバス停に屋根や椅子を設置したり、歩道の段差をなくすなど、高齢者などが出かけやすい歩道整備を期待するが、市の見解を問う。

答弁 持続可能な公共交通の維持・確保を図る中で、バスの待ち合い環境の快適化など、利用者にとってよりよい環境の実現に向けて

取り組む。また、高齢者や障害のある方々も含めた誰もが安全に、安心して利用できる道路整備に努める。

Q 教員負担軽減の取り組みは

A 地域との協働で取り組む

質問 長時間労働や精神的負担が多いとされる学校の先生の負担を減らすため、地域で先生を支える取り組みについて問う。

答弁 学校と地域の協働による取り組みを進め、学校業務の適正化を図り、教職員がより充実した教育活動に取り組めるよう努める。



長寿命化工事を検討している倉梯小学校



スロープ設置が望まれる地域内集会所



国道沿いのバス停

進め、学校業務の適正化を図り、教職員がより充実した教育活動に取り組めるよう努める。

令和4年3月9日、10日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



大雪の際は運転を控えることも大事

質問 今季は12月27日に最深積雪71cmを記録し、12月としては観測史上1位という想定外の大雪であった。このため、生活道路全ての除雪を人力だけで行うことが困難となり、車のスタックが至るところで発生した。山間部等の自治会には市が除雪機を貸与しているが、それ以外の自治会へも貸与するなどの支

答弁 今年度は近年にない大雪であり、地域の皆さまが、除雪に苦勞されたことは十分認識している。市街地への除雪機の貸与については高齢化や人口減少が続く今日では、自治会の負担増が深刻な課題であるため、自治会支援の在り方の中で検討する。通学路の除雪は沿線のご家庭や地域の方々にお世話になつており、今後も協力をお願いしていきたい。

援や、通学路を自主的に除雪されている方と学校との連携が必要である。除雪支援に対する市の考えを問う。

Q 除雪に対する支援の拡充を
A 地域の方々に協力を
お願いしていく

新政クラブ議員団
野瀬 貴則

質問 平成元年に都市計画決定された市道と和泉通線は、2022年に事業進捗率100%が示されている。現状を見る限り、まだ先は長いと考えるが、市の見解はいかに。また、南工区一帯は安全対策がおろそかではないか。通常、道路工事を行う場合は、公衆の交通安全確保や危険防止のために順守すべき一般的な基準を示したものがあると認識するが、必要な道路標識、表示施設、防護施設および照明施設の設置が不十分で、施工現場の状況が勘案されていないと考えるが、市の見解はいかに。

Q 市道と和泉通線の進捗と安全対策を問う
A 早期の完了と適切な安全対策に努める

市民クラブ舞鶴議員団
田村 優樹



安全対策が問われる市道と和泉通線

答弁 用地取得に不測の日数を要したため、令和4年度中の完成は困難となった。事業の進捗状況は、広報まいづる等で市民に周知を図り、沿線の方々にも必要に応じてお知らせし、危険箇所はあらためて現場を確認する。今後は、府道小倉西舞鶴線との交差点部や車道部の整備を予定しており、工事の進捗に応じて適切な安全対策に努める。



どの子も伸びる学校に

質問 平成30年度から市内の全中学校区で実施された小中一貫教育は、施設分離型のために教職員の打ち合わせや研修などで、当初からさまざまな困難があり、それが、今日の教育現場の多忙化に拍車をかけてきた。先行実施から6年、本格実施から4年になる小中一貫教育の成果と課題を問う。

Q 施設分離型小中一貫教育の成果と課題は
A 連携による一貫した取り組みで成果

日本共産党議員団
小西洋 一

答弁 児童生徒同士や教職員同士の連携、児童生徒を真ん中に据えた課題の共有などの成果を上げている。会議時間の確保などの課題は、オンライン会議の活用などで解消している。

質問 関西電力(株)は、日本を代表する企業であり、温暖化・気候危機について社会的な説明責任がある。市として舞鶴火力発電所のCO₂排出量を公表するよう強く要求すべきと考えるが、市の見解は。

答弁 CO₂排出量は、家庭や事業所で購入された電力を事業者ごとに定められた係数により算定するもので、関西電力(株)に対し、公表を要望する考えはない。

Q CO₂排出量の公表の要望を
A 公表の要望は考えていない

一般質問

令和4年3月9日、10日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



ノリの加工作業

「グリーンコンシューマー」の啓発や環境学習の実施、イベント開催など、あらゆる機会を活用して環境意識の向上につながる啓発を行う。

Q 水産物ブランド化の支援を問う
A 知名度・単価の向上を図る支援を行う



公明党議員団 松田 弘 幸

Q 環境配慮の取り組みを問う
A 環境意識向上の啓発を行う

質問 本市には、新たに挑戦されたアサリや三倍体マガキ、ノリの養殖などの有望な水産物がある。これらのブランド化に取り組み、機械化やICTといった技術や資金等の支援が必要と考えるが、市の見解を問う。

答弁 ICT技術を活用したスマート漁業の可能性の検討や生産規模の拡大支援と併せ、PRや知名度、単価の向上を図れるようブランド化を支援し、魅力向上に取り組む。

質問 国では、グリーンライフポイント推進事業を実施するなど環境に配慮した行動がポイントとして還元される仕組みを構築し、国民のライフスタイルの転換を促している。本市の環境配慮型製品の購入や食品ロスの削減などの取り組みを問う。

答弁 「グリーンコンシューマー」の啓発や環境学習の実施、イベント開催など、あらゆる機会を活用して環境意識の向上につながる啓発を行う。

Q 市役所周辺の駐車場の管理を問う
A 緑地を含む全体の有効活用などを検討



新政クラブ議員団 鯛 慶 一

質問 市役所周辺の駐車場にはゲートもなく無料で駐車できるため、用途外駐車が見られる。今年の大雪で本来駐車していない時間に車が数台あり、除雪作業ができない所もあった。駐車場の管理としてゲート設置等の考えを問う。また、市役所周辺の駐車場が慢性的に不足しているが、自然が豊富な舞鶴市役所に、現状の正面側の緑地は必要か、駐車場として整備する考えがないかを問う。

答弁 自由に出入りできる無料駐車場であることから目的外の長時間駐車も見受けられる。今後、赤れんがパーク利用者の駐車が増えることも予想されるため、ゲート整備も含め、入退場管理が必要と考える。また、市役所前緑地については、来場者が安全・安心に利用できるよう、駐車スペースの拡充等による機能向上を目指し、令和4年度に実施予定の赤れんがパーク全体の駐車場整備の設計業務の中で、緑地を含むスペース全体の有効活用を検討したい。



市役所前緑地の有効利用を

Q 広く農家を支援する戸別所得補償制度を
A 経営所得安定対策に引き継がれている



日本共産党議員団 小杉 悦 子

質問 本市の農業は中山間地での生産、有害鳥獣被害、水害や雪害など自然環境の激変により、生産が困難である。担い手への支援策も限られたものであり、広く農家が支援を受けられる戸別所得補償制度について、市の認識を問う。

答弁 同制度は食料自給率を向上させるため、コスト割れ相当分を補填する対策として実施されていた。現在は「水田活用の直接支払交付金」などの「経営

営所得安定対策」に引き継がれている。

Q 有害鳥獣駆除体制の充実を
A 猟友会の意見を聞き実施

質問 現在、昼間でも鹿を見かけ、作物の被害だけでなく、山の法面を崩すなど、人家にも被害が及ぶ心配がある。有害鳥獣駆除は猟友会に協力いただいており、駆除班の体制は20年前につくられ、現在に至っている。猟友会の意見をよく聞き、事業実施すべきと考えがどうか。

答弁 捕獲に従事されている猟友会や地域の皆さまの意見を十分伺い、引き続き効果的な有害鳥獣対策に取り組んでいきたい。



多面的機能が発揮できる農業振興策を

※ グリーンコンシューマー … 「必要なものだけを購入する」「使い捨て商品ではなく長く使えるものを選ぶ」などの地球に優しい買い物をする消費者

令和4年3月9日、10日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

Q 地域の街路灯管理への新たな支援を

A 自治会への包括的な支援方法を検討する



質問 近年、人口減少が進み、子どもたちは都会の学校へ行き、そのまま都会で就職をし、残された親が家や土地を守ってきたが、気がつくとも、子どもたちは都会に居を構え、家を継ぐ者がいないということが増えている。そのような自治会で、地域が設置した街路灯を撤去する場合、その費用を一、二軒の隣組で負担するのは困難である。街路灯の管理に対する新たな補助制度が必要と考えるが、市の考えを問う。

答弁 自治会を取り巻く状況は、少子高齢化や役員の高齢化や役員の担い手不足

など、運営の困難に直面していると伺っている。また、自治会における負担増が深刻な課題であり、街路灯の維持管理やLED化などに対する支援への要望を多くいただいている。これらを踏まえ、実情に応じた補助制度への見直しに向けた議論を進めている。市として自治会に対する包括的な支援方法を検討していく。



根元が腐食した街路灯

Q 保育所、幼稚園と小学校の連携を問う

A 小学校区単位で連携と交流を深める



質問 今後、保育所・幼稚園・認定こども園の連携や小学校との円滑な連携がますます求められる。「主体性を育む乳幼児教育の推進」を基本理念に、舞鶴市乳幼児センターを中心とした円滑な連携のための予算1043万4千円を計上し、研修の充実や保育者の育成強化の体制が整備される。そして、保・幼・小と小中一貫教育との連携で、切れ目のない教育の推進に取り組まれる。乳幼児教育センターを中心とした質の向上や小学校との連携事業をどのよう展開するのかわを問う。

答弁 保幼小連携研修で保幼小の垣根を越えて学びあうことにより、相互理解が深まってきた。また、小学校区単位で連携協力園・校の関係を構築し、5歳児と1年生が交流を深めることが、安心して就学できることにつながっている。引き続き乳幼児教育センターを拠点に、「質の高い乳幼児教育のまち舞鶴」を目指した取り組みを推し進めていく。



伸び伸びと学ぶ園児たち

Q エネルギー産業による市の活性化を問う

A 再生可能エネルギー産業を促進する



質問 市は、昨年6月に「舞鶴市地域エネルギービジョン」を作成した。これによるとエネルギーに関連する新しい産業の振興が期待できる計画となっているが、どのように活性化を図るのか。

答弁 地域に根差した再生可能エネルギー産業の促進など経済面での取り組みを推進し、環境・社会・経済の3つの側面に市民、事業者、行政が一体となつて取り組むことにより、地域の活性化を図る。

質問 竹バイオマス発電の導入を

A さまざまな課題がある

答弁 竹を燃料とした発電は、燃焼灰の固化や伐採と輸送など多くの課題を抱えているが、近年、これらの課題を解決する技術が確立され事業化できるようになっている。本市も放置竹林の課題を抱えており、導入を検討してはどうか。

答弁 竹林の適正管理の推進に有効であり、検討もしてきたが、竹の伐採や輸送にかかるコスト、竹材供給の市場性など、さまざまな課題があると考えている。

地域に根差した再生可能エネルギー産業の促進



経済側面が目指すべき社会【地域活性化】

令和4年3月9日、10日に本会議を開き、16人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は次のとおりです。 **一般質問 決議・議会傍聴**



子どもの遊び・健康を守る

質問 本市で令和4年度から「子どもの豊かな育みを支える環境づくり推進本部」が設置される。政府が2023年4月に「こども家庭庁」を設置する法案を決定したことを受けての先手の対応だと受け止めている。障害など支援を必要とする子どもや虐待、生活困窮、ヤングケアラー、いじめ、不登校など、これまでの縦割り行政では対応しづらかった多くの課題に切れ目なく対応することは大き

答弁 子どもや家庭が抱えるさまざまな課題に対して、子育て環境の充実を図る施策をつなぎ、切れ目ない包括的な支援施策とする。そのため、健康・子ども部、市民文化環境部、福祉部および教育振興部の横断的連携による「子どもの豊かな育みを支える環境づくり推進本部」を設置し、期限を定めずその役割を果たす。

一般質問

Q 本市の新たな子育て支援策を問う

A 関係部連携の「推進本部」を設置する

新政クラブ議員団 田畑篤子

決議

3月定例会で議会提案し、可決した決議は次のとおりです。

▽ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議

去る2月24日、ロシアによるウクライナへの軍事による侵略が開始された。

武力による国の主権や領土の侵害、人々の生命、自由を奪う事態は、いずれの国や地域、いかなる理由があろうとも、国際社会においては、断じて許されるものではない。さらにロシアが核準備態勢の強化を決定したことについて、断じて許されるべきものではなく、唯一の核兵器被爆国として、国際社会とともに強く非難し、抑止させるべきである。

このような力による一方的な現状変更の試みは、明らかな国際法

違反であり、国際秩序の根幹を揺るがす行為を実行するロシアに対し、最も強い言葉で厳しく非難する。

よって、国においては、在留邦人の安全確保に全力で取り組むとともに、国際社会と連携し、ロシアに対する制裁措置の徹底と強化を図り、軍の即時撤収を求めることを強く要請する。

舞鶴市議会においては、本市の市是である「平和産業港湾都市」に基づき、世界平和の実現に向けて、国際社会が一体となって全力で取り組むべきであることを、ここに訴える。

審議の様子



議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会等はどこからでも傍聴することができます。

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。



詳しくはホームページをご覧ください。



ICTを活用した効率的・効果的な議会運営

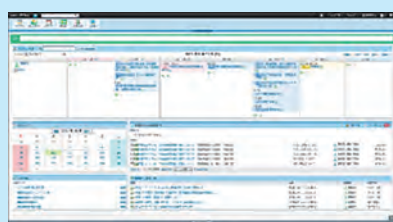
舞鶴市議会では、ICT（情報通信技術）を活用した「効率的・効果的な議会運営」に取り組んでいます。舞鶴市からのさまざまな情報（事業の実施や報告など）の共有や議会のスケジュールの共有などにグループウェア（インターネットを通じた情報共有のシステム）を活用しているほか、ペーパーレス会議システム（紙の資料を使わずに円滑に会議や会議の準備を行うためのシステム）を活用して会議を行っています。

これらの取り組みは、平成30年から各議員が自身でタブレットやノートパソコンを用意して実施していますが、議案資料などの分厚い冊子のペーパーレス化や、複数の資料を同時に見比べながら行う議案審査の充実などの観点から、令和4年度には、新たに議員1人1台のタブレット端末を導入することとしました。

セキュリティ対策も十分に行い、効率的で深い議論や、市民の皆さまへの分かりやすい説明など、議会・議員の役割を、これまで以上に発揮してまいります。



ペーパーレス会議システム



グループウェア

タブレットの活用

- ペーパーレス会議システムを利用した会議運営
- グループウェアを利用した情報共有
- オンライン会議
- 市民の皆さまへの分かりやすい説明

- 運営の効率化
- 迅速な情報共有
- 感染症のまん延も含めた災害の対応
- 分かりやすさの向上



舞鶴市議会の情報発信 ~ YouTube と Facebook ~

本会議や委員会の様子は、YouTubeでライブ配信、録画配信を行っています。

また、Facebookでは、議会の活動内容を随時発信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録や「いいね」もお願いします。

舞鶴市議会
YouTube



舞鶴市議会
Facebook



舞鶴市議会
ホームページ



FMまいづるに出演しています

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。

定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなこととお話ししていますので、ぜひお聴きください。



午後3時から生放送！
午後9時から、再放送をお聴きいただけます。



今後の
放送予定

5月27日(金)
放送テーマ:「市民と議会のわがまちトーク報告」ほか

これまでの
主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「議場の中の様子などについて」
- 「FMまいづるとの意見交換会の報告」
- 「審議の見える化を図る取り組み」など

次回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



議会防災訓練を実施

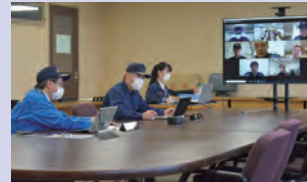
阪神・淡路大震災が発生した日である1月17日に、議会の防災訓練を実施しました。

舞鶴市議会では、有事に備え、不定期に防災訓練を実施していますが、今回は、委員会の開催中に地震が発生した想定での庁舎外への避難と、大雨により市内各所で被害が発生した想定での情報伝達訓練等を行いました。

オンラインによる議会本部会議では、今回の訓練に関し、避難誘導の在り方のほか、逃げ遅れや火元などの確認項目、市の災害対策本部への情報伝達の方法などについて意見交換し、今後もあらゆる想定の下での訓練を繰り返していくことを確認しました。



負傷者の避難のサポート



オンラインによる本部会議



web上での情報共有

議会学習会を開催

舞鶴市議会では、議会に対する理解を深め、より身近に感じていただけるよう、小中学校の児童生徒等が、議会の機能や役割について学ぶ機会を提供しています。

1月26日には、新舞鶴小学校の6年生に議場へお越しいただき、議会学習会を開催しました。

学校側の意向も踏まえて内容を変えられますが、今回は、実際の本会議の流れに沿って次のような内容で実施しました。

- 1 諸報告（議会の仕組み等について議長から説明）
- 2 会議録署名議員の指名（児童の中から議長が指名）
- 3 会期の決定（学習会の時間を簡易採決で決定）
- 4 議長選挙（児童の中から短期無記名投票により議長を選出）
 ※ これ以降は議長役の児童が進行
- 5 決議第1号（議員役児童による内容説明と押しボタン式投票で採決）
- 6 代表質問（議員役の児童が質問し、市長役の児童が答弁）
- 7 第1号議案および第2号議案
 （市長役の児童が内容を説明し、議員役の児童が討論を行った後、押しボタン式投票により採決）



議長を選ぶ投票



議長役の児童による進行



会議録

6月定例会予定

6月

- 2日(木) 本会議(開会・提案説明)
- 9日(木) 請願受理締切
- 14日(火) 本会議(一般質問)
- 15日(水) 本会議(一般質問)
- 16日(木) 本会議(一般質問、議案質疑)
- 20日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 21日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(金) 予算決算委員会
- 29日(水) 本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。



舞鶴市議会 公式YouTubeチャンネル

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の一つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。



チャンネル登録を
よろしく
お願いします

